
平成26年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成26年3月6日

質問者（質問順）

- 1 坂本勝司 委員（民主党）
- 2 豊田有希 委員（結ぶ会）
- 3 大貫憲夫 委員（共産党）
- 4 藤代哲夫 委員（自民党）
- 5 草間剛 委員（自民党）
- 6 加納重雄 委員（公明党）
- 7 平野和之 委員（みんな）

交 通 局

局 別 審 査

1 坂 本 勝 司 委 員 (民 主 党)

1 26年度交通局予算について

- (1) 26年度予算の基本的な考え方について伺いたい。
- (2) 自動車事業、高速鉄道事業の26年度の経常利益はいくらか伺いたい。
- (3) 自動車事業、高速鉄道事業の26年度予算の特徴は何か。
- (4) 予算編成を終えての局長の所感を伺いたい。

2 市営交通の安全の取り組みについて

- (1) どのような体制で安全の取り組みを進めるのか。
- (2) 安全性向上に向けて、組織を十分機能させるために局としてどのように取り組んでいるのか。
- (3) 地下鉄乗務員に向けた安全に関する取り組みは具体的にどのようなものがあるのか。
- (4) 安全に関する取り組みをお客様にどのように理解していただくのか。
- (5) これまで、市営バスの安全対策にはどのようなものがあったのか。
- (6) 26年度に実施する安全対策にはどのようなものがあったのか。

3 市営地下鉄の安全対策・災害対策について

- (1) 26年度に予定している地下鉄の津波対策はどのようなものか。
- (2) 25年度から取り組んでいる地下鉄のさらなる耐震補強の進捗状況と今後の予定について伺いたい。
- (3) 26年度の地下鉄施設の老朽化対策とはどのようなものか。
- (4) 今後の地下鉄施設の老朽化対策に必要な費用の確保はどうするのか。

4 生活支援バスサービス「ふれあいバス」について

- (1) ふれあいバスを運行する趣旨について伺いたい。

- (2) ふれあいバスの現在の運行路線数は何路線か。
- (3) 運行する地域はどのような考え方で選定したのか。
- (4) それぞれの路線の利用状況はどうか。
- (5) ふれあいバスの今後の計画について伺いたい。

5 ブルーライン急行運転について

- (1) 現時点での急行運転の検討状況について改めて伺いたい。
- (2) 急行運転の安全対策をどのように進めてきたか。
- (3) 急行運転の実施時期はいつか。
- (4) 26年度の設備改修はどのようなものか。
- (5) 職員研修に対する研修などの取り組みはどのようなものか。

6 バスターミナル等の清掃を通じた障害者施設との協働の拡大について

- (1) バスターミナル清掃事業の実施状況はどうか。
- (2) 清掃事業を受託しているのはどのような施設なのか。また、今回応募した施設数はどれくらいあったのか。
- (3) 一つのターミナルに複数の事業者が応募した場合はどのように選定するのか。
- (4) 来年度はどのように事業拡大していくのか。

2 豊田有希委員（結ぶ会）

1 経営諸課題への対応について

- (1) 中期経営計画目標の上方修正について伺いたい。
- (2) 交通広告事業の強化にどのように取り組むのか。
- (3) テナント事業管理委託化について伺いたい。
- (4) 防犯メジャー設置の検討状況について伺いたい。

2 長期見通しをふまえた経営について

- (1) 長期見通しを呈示した意義は何か。
- (2) 高速鉄道事業の乗車料収入の変化が少ないと見込む理由について伺いたい。
- (3) 経常利益率が2段に分かれて大幅に上がる要因について伺いたい。
- (4) 利用者減や乗車料の見直し等によるバッドシナリオも見込んでおくべきと考えるが見解について伺いたい。
- (5) 自動車事業の乗車料収入の変化が少ないと見込む理由について伺いたい。
- (6) 平成28年度以降、約10年間にわたって経常利益率が大きく下がる要因は何か。
- (7) 経常利益率が大きく下がる期間を見据えた対策は何か。
- (8) 利用者が敬老パス対象に移っていく影響についての見解について伺いたい。
- (9) 今後の市営交通の経営計画に関しては、こうした長期見通しをベースに、適宜更新（ローリング）していくことが望ましいと考えるが、局長の見解について伺いたい。
- (10) それぞれの事業において執行責任を明確にする体制を検討すべきと考えるが、見解について伺いたい。

3 大貫憲夫委員（共産党）

1 あざみ野駅のバリアフリー化について

- (1) この1年間の検討内容について伺いたい。
(要望) 局長在任中に設置実現の目途をつけて欲しい。

2 地下鉄の耐震強化について

- (1) 一般的に地下の構造物は安全だと言われている理由について伺いたい。
(2) 阪神・淡路大震災で神戸市営地下鉄のトンネルや駅舎で被害が起きた理由について伺いたい。
(3) 地下の場合も地盤の関係で被害が出てくるわけで、地下が安全だという認識でいると非常に問題があると思うが見解について伺いたい。
(4) 軌道改良区間のトンネルの構造形式が違う理由について伺いたい。
(5) 硬い地盤と軟らかい地盤の境で相互ばらばらの力が加わることに対する見解について伺いたい。
(6) レールの破断の概要と地盤の問題との関係について伺いたい。
(7) セグメントの間から塩分を含む漏水があることでのセグメント自体への影響について伺いたい。
(8) レールが破断する漏水環境で、セグメントをつなぐ鋼鉄への影響について伺いたい。
(9) 開削トンネルの柱だけでなく、シールドトンネルに対する補修について伺いたい。
(要望) 地下だから、シールドだから安全というのではなく、シールドトンネルに関する対策をしっかりとやって欲しい。

4 藤代哲夫委員（自民党）

1 交通局の経営状況について

- (1) 26年度予算編成にあたって特に苦勞した点は何か。
- (2) 消費税率引き上げによる予算額に影響のあった収入と支出は何か。
- (3) 会計制度の見直しによる予算額に影響のあった項目は何か。また影響額はどれくらいか。
- (4) 消費増税や会計制度見直しの影響を除いて試算した場合、自動車事業における26年度の営業損益、経常損益は25年度と比べてどうか。
- (5) 同様に、高速鉄道事業における26年度の営業損益、経常損益は25年度と比べてどうか。
- (6) 消費増税や会計制度見直しの影響を除いた26年度収支状況について、どのように評価しているのか。
- (7) 26年度の特別損失の主な内容は何か。
- (8) 累積欠損金を抱えることに対する考えについて伺いたい。
- (9) 累積欠損金を解消していくためにどのように取り組んでいくのか。また、欠損金解消の見込みはいつか。
- (10) 累積欠損金の解消に向けた局長の決意を伺いたい。

2 バス停の利便性向上について

- (1) 現在の上屋の設置状況はどうか。また、来年度どの程度設置するのか。
- (2) 新たに広告付き上屋でない上屋を新設していく趣旨は何か。
- (3) 現在のベンチの設置状況はどうか。また、来年度どの程度設置するのか。
- (4) 老朽化したベンチについてはどのように対応していくのか。
- (5) バス停お客様案内システムとは何か。また、何か所に設置するのか。
- (6) 今後、お客様案内システムをどう活用していくのか。

3 地下鉄における I C カードの促進について

- (1) 地下鉄における I C カードの利用割合について伺いたい。
- (2) I C カード専用の改札機と切符等も利用できる兼用機のコストについて伺いたい。
- (3) より I C カードを利用しやすくするためにどのような取り組みを行うのか。

4 商店街との連携について

- (1) 商店街連携の基本的な考え方について伺いたい。
- (2) 21 年度の連携開始当初の取り組みについて伺いたい。
- (3) 具体的な利用実績と実績に対する交通局の評価について伺いたい。
- (4) 「得とくチケット」実施結果を踏まえ、その後、商店街との連携をどのように進めてきたのか。
- (5) 覚書を締結した商店街との具体的な取り組みの内容について伺いたい。
- (6) メディアとタイアップした事業 P R とはどのようなものか。
- (7) メディアに露出することで、どのような効果を狙っているのか。
- (要望) 市営バスニュースに「ガチカレー」を掲載し、できればエントリー店の紹介をして欲しい。

5 広告事業について

- (1) 広告事業の位置づけについて伺いたい。
- (2) 25 年度の収入見込みと予算計上額について伺いたい。
- (3) 増収に向けて 26 年度はどのような取り組みを行うのか。
- (4) ラッピングバスを運行している意義について伺いたい。
- (5) ラッピングバスにはどのような業種が出稿しているのか。
- (6) プロスポーツチームと連携したラッピングバスの運行についてどう考えるか。
- (7) ラッピングバス活性化する上での課題は何か。
- (8) 水道局と京急で水の備蓄の P R に取り組んだように、交通局も災害時の自助・共助の理念の重要性に関する啓発活動として、広告媒体を活用してはどうか。

6 市営交通の経営に対する考えについて

(1) 今後の市営交通にどのような役割を期待しているか伺いたい。

1 FCバスの導入について

- (1) これまでのバス省エネルギー化の取り組みについて伺いたい。
- (2) FCバス調査費で何をしようとしているのか。
- (3) EVバスの課題の取り組みについて伺いたい。
- (4) FCバス実走した感想とEVバスとの差について伺いたい。
- (5) FCバス導入に際し想定される課題と対応について伺いたい。
- (6) FCバス導入の決意について伺いたい。

2 グリーンラインの混雑緩和について

- (1) 朝ラッシュ時間帯の日吉本町から日吉間の混雑状況と対応策について伺いたい。
- (2) 朝ラッシュ時間帯のダイヤ改正の概要と効果について伺いたい。
- (3) 夕ラッシュ時間帯と深夜時間帯のダイヤ改正の概要と効果について伺いたい。
- (4) 今後の混雑率の推移と対策について伺いたい。

3 駅の備蓄（方面別備蓄庫）について

- (1) 駅の備蓄の状況について伺いたい。
- (2) 備蓄に関する運用マニュアルの策定と実際の想定訓練を行っているのか伺いたい。
- (3) センター北駅に設置される方面別備蓄庫の規模について伺いたい。
- (4) センター北駅方面別備蓄庫の駅としての対応について伺いたい。
- (5) 駅に人が押し寄せた時の対応について伺いたい。

4 「一駅一国運動」とアンゴラ共和国との交流について

- (1) 第5回アフリカ開発会議における「一駅一国運動」の考え方について伺いたい。

- (2) センター北駅では、どのような取り組みを実施したのか。
- (3) センター北駅の絵画をもっとPRすべきと考えるがどうか。
- (4) アンゴラ共和国との交流イベントの駅構内での実施の可能性について伺いたい。

5 「横浜ビー・コルセアーズ」との連携について

- (1) これまでの連携内容と実績について伺いたい。
- (2) 今シーズンはどのような連携を行っているのか。
- (3) 横浜ビー・コルセアーズを応援する理由について伺いたい。
- (4) 横浜ビー・コルセアーズが交通局に期待していることは何か。
- (5) プロスポーツチームとタイアップする際に重視すべきことは何か。

6 「横濱ベイサイドライン」について

- (1) 横濱ベイサイドラインの25年度の乗車人員、収支及び車両の運用状況はどうなっているのか。
- (2) 26年度の黒字化は可能か。
- (3) 改善型公営企業として、もう一步ブレイクスルーするために、横浜・鎌倉など、近隣自治体や近隣事業体と共同した観光ルートを開拓すべきと考えるが、その見解について伺いたい。

1 職員の健康管理の予算案への記載について

(1) 予算案に職員の健康管理について記載されていないが、これについての見解について伺いたい。

2 バスの安全対策と公金管理について

(1) バスのドライブレコーダーについて

ア ドライブレコーダーの4つ目のカメラを取り付けることになっているが、安全対策としてのドライブレコーダーの活用方法とカメラを増設する理由について伺いたい。

イ 現在搭載されている3つのカメラの取り付け位置と他のバス事業者のドライブレコーダーの取り付け状況を把握している範囲で伺いたい。

ウ 4つ目のカメラを取り付ける理由と取り付け場所について伺いたい。

(2) バス運賃収受に係る公金管理の取り組みについて

ア 平成24年に発生したバス運賃の不適切な取り扱いの概要について伺いたい。

イ 今回の不適切事案の発生に際し、どのように対処したのか。

ウ 不適切な取り扱いが発生した原因について、どのように認識しているのか。

エ どのような再発防止策に取り組んだのか。

オ 再発防止策によりどのような効果を生んでいるのか。

カ ドライブレコーダーの有効活用について、どのような改善を図ったのか。

3 交通局職員の健康管理について

(1) 職員の健康管理に関する事業にはどのようなものがあり、予算額はいくらか。

(2) 産業医の法的役割について伺いたい。

(3) 産業医巡視の資料がないが、産業医は実際に行っているのか。

(4) 産業医が本局に年1回しか行っていないことは事実か。

- (5) 産業医の契約内容について伺いたい。
- (6) 産業医への支払い方法について伺いたい。
- (7) 産業医の出勤の確認方法について伺いたい。
- (8) 産業医出勤簿巡視記録簿とは何なのか。
- (9) 支払いの根拠となる職場巡視改善記録簿に不備があったことについてその概要を伺いたい。
- (10) 支払いの根拠がなく支払が行われていることについての見解を伺いたい。
- (11) 巡視時間が5分で5万円の報酬を支払っていることについての見解を伺いたい。
- (12) 書類の不備についての見解を伺いたい。
- (13) 不適切な事務の取り扱いの見解を伺いたい。
- (14) 産業医の巡視方法をどのように改善していくのか。
- (15) 交通局の職員の喫煙率について伺いたい。
- (16) 職員の健康管理を進める上で、喫煙に対する局長の考えについて伺いたい。
- (17) バス営業所での受動喫煙防止の取り組みはどのようなものか。
- (18) いつ基準分煙にし、どのような施設を作り、環境調査を行っているはずだが、その状況について伺いたい。
- (19) 環境調査の結果について伺いたい。
- (20) たばこの自動販売機の設置状況について伺いたい。
- (21) さらなる受動喫煙対策へどのように取り組むのか、局長の見解について伺いたい。
- (22) 超過勤務、過重労働の現状について伺いたい。
- (23) 36協定を考慮しての超過勤務、過重労働の考えについて伺いたい。
- (24) たばこについての市役所本庁舎での現状はどうなっているのか。
- (25) 市役所本庁舎の屋上で喫煙することは可能か。

1 市営交通の経営について

- (1) 交通局の今後の事業計画はどのような方向性に向かっていくのか。
- (2) 今後の利益について、利用者や市民、横浜市、取引先などのステークホルダーへの配分をどのように考えているのか。
- (3) 計画以上の利益が出た場合には、利益額の2割は住民に還元する、何割は職員に還元するなどといった利益配分の基準を設定する考えはないのか。
- (4) 利益を生み出す仕組みについて
 - ア 交通開発（株）からより多く配当金を増やす考えはないのか。
 - イ 交通開発（株）や交通局協力会において、店舗や駐車場等の運営・貸付事業での収入はどの程度か。
 - ウ 協力会においてもっと増やせるのではないか。
 - エ 横浜市が出す広告の料金について、広告代理店を通さずに直接交通局に納付すれば、交通局広告料収入の増加が実現すると思うが見解を伺いたい。
 - オ 軽油の仕入れはロットが大きい分、民間より安く仕入れて、グループ間で売ったりしていると聞いたが、仕組みについて伺いたい。
 - カ 交通局の契約単価はどの程度か。
 - キ 他局も含めたオール横浜での一括購入も検討すべきと考えるが見解を伺いたい。
 - ク 同じように整備請負などを行うべきと考えるが見解を伺いたい。